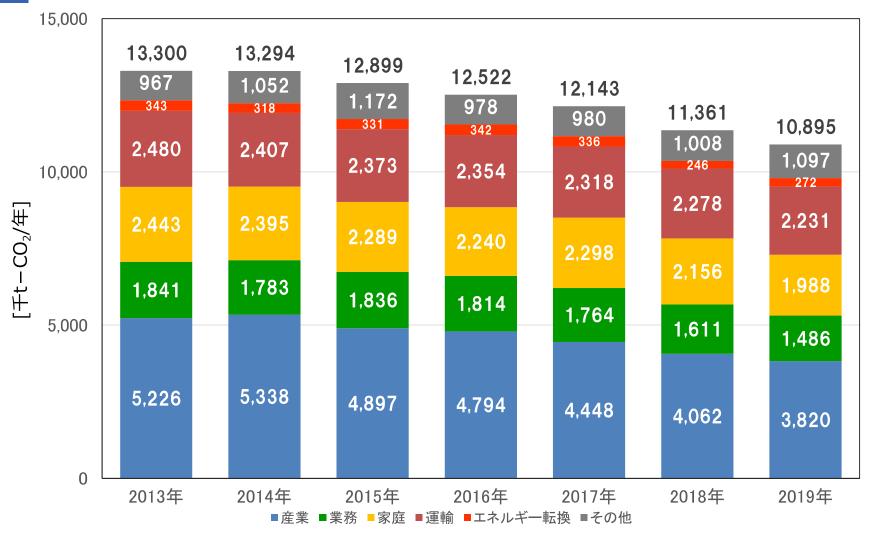
第2回富山県環境審議会カーボンニュートラル戦略策定小委員会

富山県カーボンニュートラル戦略の 策定について(その1)【抜粋】

令和4年11月21日

カーボンニュートラル戦略 【現状】

現状 温室効果排出ガスの推移について



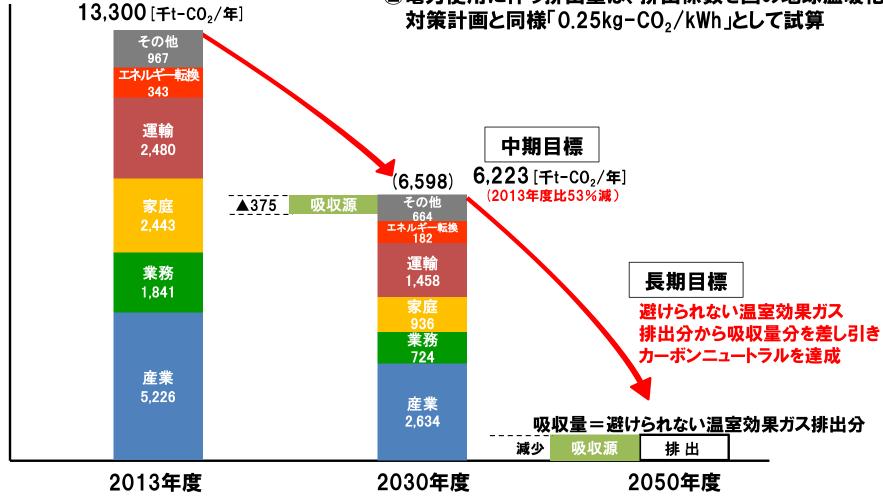
・国の計画策定マニュアルの改定により、エネルギー転換部門※を追加 ※国への温室効果ガス排出量報告制度対象の発電所(富山火力、富山新港火力)の自家消費分

カーボンニュートラル戦略 【目標】

本県温室効果ガス排出量削減目標 (2030年度、2050年度)

【設定方法】

- (1)国の地球温暖化対策計画における各部門の削減目標に ついて、人口や製造品出荷額等の指標により、富山県分 を按分し推計
- ②電力使用に伴う排出量は、排出係数を国の地球温暖化



カーボンニュートラル戦略 【目標】

削減目標

(参考)現行計画▲30%

温室効果ガス排出量 ・吸収量 (単位:干 t -CO ₂)			2013排出実績 [基準年度]	2030排出量	県削減率	(参考)国温対計画 削減率
			13,300	6,223	▲ 53%	▲46%
エネ	ペルギー起源CO ₂		12,333	5,933	▲ 51%	▲45%
	部門別	産業	5,226	2,634	▲ 50%	▲38%
		業務その他	1,841	724	▲61%	▲ 51%
		家庭	2,443	936	▲62%	▲ 66%
		運輸	2,480	1,458	▲41%	▲35%
		エネルギー転換	343	182	▲ 47 %	▲47%
その他 非エネルギー起源CO ₂ 、メタン、 N ₂ O、HFC等4ガス(フロン類)等			967	664	▲31%	▲ 14 % 非エネルギー起源CO,、メタン、N,O ▲ 44 % HFC等4ガス(フロン類)等
吸収源			_	▲ 375	_	

カーボンニュートラル戦略 【目標】

本県の最終エネルギー消費量 (2030年度目標、2050年度参考)

【設定方法】

- ①2030年度目標…第6次エネルギー基本計画における各部門の削減目標について、人口や製造品出荷額等の指標により、富山県分を按分し推計
- 150,000 ②2050年度参考値…国立環境研究所が示したAIMモデル を参考に推計 123,122 **▲27.2%** (2013年度比) 100,000 89,630 最終エネルギー消費 ▲31.8% (2030年度比) 69.6% 85,741 (参考)▲50.4% 61,108 (2013年度比) 58,885 65.7% 50.000 55.1% 33,684 30.4% 44.9% 34.3% 37.381 30.745 27,424 0 2013 2030 2050 ■電力 ■燃料

産 業 カーボンニュートラル戦略 重点施策 (案)

重点施策

①脱炭素経営の促進

▶ 脱炭素経営の導入促進

- (知る)取組みの動機づけ
- (測る) 排出量の算定
- (減らす)削減目標や計画の策定
- (行動を促す)「エコアクション21」の認証・登録サポート

▶ グリーン成長戦略分野への県内企業の参入等を促進

● 県内企業の産業集積が期待できる「自動車・蓄電池」、「水素・燃料アンモニア」 「次世代再生可能エネルギー」3分野に関する研究会を開催

▶ 環境にやさしい農業の推進

● 土づくりの実践や適正な生産資材の利用等を推進し、化学肥料・農薬の使用量を低減

産 業 カーボンニュートラル戦略 重点施策 (案)

重点施策

②省エネルギーの徹底的な実施、再生可能エネルギーの最大限導入

- ▶ 産業の特性に応じた省エネ・再エネ設備や機械機器の普及促進
 - 他の企業のモデルとなる先進的な省工ネ設備の導入
 - ESGの要素を考慮して行う県内中小企業の設備への投資等
 - 工場や事業所等において、再生可能エネルギー熱の利用のため、ヒートポンプ等 熱供給システムの導入
 - 生産性が向上するICT施工の普及やICT機器の導入
 - 農林漁業における省エネ化・脱炭素化、省エネ資機材・設備等の導入

③熱利用の脱炭素化の促進

- ▶ 熱利用設備の高効率化・低炭素化
 - 温度帯別の熱需要を踏まえた効果的な対応策の情報発信
 - 生産設備における他の企業のモデルとなる熱利用の高度化や燃料転換を促進
 - 事業者間で未利用熱の活用や熱の面的利用の実現に向けた検討

産業 カーボンニュートラル戦略 重点施策 (案)

目標(2030年度)

①脱炭素経営の促進

- CO₂排出についての現状を認識し、削減を目指す県内企業の割合:100%
- エコアクション21 (EA21)の新規登録者数:200社以上
- グリーン成長戦略分野に関連する研究開発実績:20件以上
- 有機・特別栽培農産物の栽培面積:1,500ha以上(2031年度)

②省エネルギーの徹底的な実施、再生可能エネルギーの最大限導入

- 県支援制度の活用や横展開による設備導入実績(省エネ、再エネ):35件以上
- 県発注工事における I C T 活用工事の実施件数:70件以上

③熱利用の脱炭素化の促進

■ 県支援制度の活用や横展開による設備導入実績(高度化、燃料転換):35件以上